

塩川・梅村緊急街宣



大軍拡でなく、消費税減税を

日本共産党の塩川鉄也国対委員長・衆院議員と梅村
早江子元衆院議員は10日、高市早苗首相が通常国会

冒頭での衆院解散を検討しているとの報道が出たこと
を受けて、JR大宮駅東口で緊急宣伝を行いました。



訴える（左から）塩川、梅村の両氏＝
10日、さいたま市

塩川氏は、高市首相がアメリカのベネズエラ侵略にもの言えない姿勢、「台湾有事」発言、統一協会と自民党の癒着などの問題で、国会での追及を避けるために衆院を解散するなら「厳しい審判を」と強調。外国人や女性を差別し、高齢者と現役世代の対立をあおるようなやり方ではなく「多くの人と政治を変えるために力を尽くす」と訴えました。梅村氏は、「昨年の参院選では野党と一部の自民党候補も消費税減税を訴えた。ただ

にやるべき政策。税金は大軍拡ではなく、国民の暮らしのために使わせよう」と呼びかけました。宣伝に足を止めた50代の女性は「自民党は非核三原則をいじるなんてあり得ないし、戦争がしたいんだと思う。アメリカのベネズエラ侵略の問題や物価高など、共産党はまともなことを言っている政党の一つ。議席を増やしてほしい」とエールを送りました。



軍事ローン 17.9 兆円、戦前の反省軽視

防衛省の2026年度予算案で、高額兵器の購入費などを複数年度に分割で支払う軍事ローン「後年度負担」が総額17兆9524

億円に上り、過去最大を更新しました。25年度より2・3兆円増加。予算案本体（9兆353億円）の約2倍のツケを将来に回しており、予算の硬直化を招いています。（しんぶん赤旗 2025年12月28日より）

さいたま市食肉中央卸市場廃止問題
「廃止ありきでなく協力を」 岩渕氏ら懇談

さいたま市が食肉中央卸市場の廃止を発表したことを受けて日本共産党の岩渕友参議院議員は12月24日、鳥羽恵さいたま市議らとさいたま食肉市場株式会社の金子健司社長らと懇談しました。

金子社長は「北海道や北関東など広域から牛や豚を受け入れている。生産者は受け入れ先を

心配している」小熊建夫専務取締役も「飲食店も肉が仕入れできなくなり多くの影響が」と強調。岩渕氏は18日の参院農林水産委員会で質問し、鈴木憲和農水相の「廃止ありきでなく現場に寄り添った対応をするよう指導した」の答弁に触れ「市場の役割や影響を考え、ともに協力していきたい」と話しました。

18日参院農林
水産委での質問
のQRコード



金子健司社長（左端）らと懇談する岩渕友参議院議員（右から二人目）ら＝24日、さいたま市

高市政権と国民矛盾明らか 日本共産党を今こそ大きく



東京・池袋 田村委員長が訴え

日本共産党の田村智子委員長は12日、東京・池袋駅前で演説し、高市早苗首相が通常国会冒頭で衆院解散・総選挙に打って出ようとしているが、「論戦から逃げ、保身のためだけの解散だ」と批判し、「自民党政治のゆがみをただす日本共産党への大きなご支援を広げてほしい」とよびかけました。

田村氏は、なぜ突然の解散・総選挙なのかについて①高市政権には、大幅賃上げや消費税減税など「物価高から暮らしを守ってほしいの願いに応える政策がなく、

②外交でも日中関係を打開する展望もなく、米国トランプ政権の国連憲章・国際法無視を一言も批判できない深刻な行き詰まりに、

③さらに、高市首相が代表の自民党支部への違法企業献金、統一協会による自民党への選挙応援が290人、首相はじめ

閣僚が多数含まれている事が明らかになった。

これら内政・外交の問題や「政治とカネ」、統一協会との癒着などが追及される前に、支持率が高いうちに、選挙で議会の多数を得ようとしている「大義も道理もない、自己保身解散だ」と厳しく批判しました。

田村氏は、日本共産党が掲げる新しい政治の展望一暮らしと経済の問題では大企業や富裕層に集中する富にメスを入れ、働く人の大幅賃上げや国民の暮らしに回す改革を



(写真) 訴える田村智子委員長＝12日、池袋駅西口

示し、外交では「アメリカいいなりを見直す時、国連憲章と国際法、世界の秩序を守れと日本政府は求めるべきだ」と主張。

日本共産党の躍進で「豊かな暮らし、安心して暮らせる日本、平和な日本とアジアと一緒につこう」と訴えました。

「政治に希望」「労働者の代表」

ニューヨークとシアトル、二人の「社会主義者」が市長に就任



マニタム氏の就任式に
集まった市民11日、
ニューヨーク



【ニューヨーク】米民主党進歩派で「民主的社会主義者」のゾーラン・マムダニ氏（34）が1日、米国最大の都市で金融機関や大企業が集中するニューヨークの市長に就任しました。

就任式には氷点下の寒さのなか

多くの市民が集まり労働組合マークの帽子をかぶった人、米国民社会主義者＝DSAのロゴが入った服をきた人など、市庁舎前の広場は「新たな時代」に期待を寄せる人たちであふれかえりました。（「しんぶん赤旗」1月3日より）

【ワシントン】米民主党所属で自ら社会主義者と名乗るケイティ・ウィルソン氏（43）が、西部ワシントン州シアトルの新市長に就任し、2日、就任式に臨みました。ウィ

ルソン氏は「シアトルはあなたの街だ。市長としての1日1日を、これを単なるフレーズでなく現実のするために働く」「出自や収入がどうであれ、皆さんには尊厳ある人生を送

る権利がある」と訴え、市民が月々の支払いに頭を悩ませたり、子育てのため仕事を掛け持ちしたりする必要のない街をめざすと強調しました。（「しんぶん赤旗」1月4日より）